



板二小ホームページ

QRコード

板一中 小中一貫学びのエリア (板二小・板六小・板七小・板一中)

板二だより

学校情報化優良校・国連ユネスコスクール認定校

板橋区教育委員会研究奨励校・小学校教科担任制等加配校

令和8年度 9月号

令和8年9月 1日

板橋区立板橋第二小学校

校長 小澤 裕行

2学期がスタートしました

校長 小澤 裕行

子供の元気な声が聞かれる。子供たちの姿がある。当たり前のことですが、2学期がスタートした今日、板二小で見られた姿です。例年終業式（修了式）の時に子供たちに校長の大きな願いとして伝えていることが「大きな事故や怪我なく、休み明けに学校で会いましょう」ということです。この夏も全国を見渡すと不幸にも熊本地方では大地震がありました。千葉では思ってもいなかった集中豪雨がありました。（板橋区でも気象庁から雨による災害レベル4が出された日もありました）改めて当たり前の日常の素晴らしさ・大切さを感じざるを得ません。

2学期はいうまでもなく1年の中で一番長い期間です。長い教職経験を振り返って改めて思うことが、日々当たり前のことを淡々と言うことこそが、子供たちの成長につながると実感しています。ですから今学期も「凡事徹底」をモットーに大人も子供も取り組んで参ります。ご家庭でも小さなことをおろそかにしないようにご指導のほどよろしくお願いいたします。

さて話は変わりますが、1学期にRST（読み解く力の定着度を測る調査）や全国学力学習状況調査が行われました。調査実施学年の保護者の皆様方には、分析した結果や今後の取り組みについてのお知らせを、本日A3両面印刷し児童に持たせました。そちらをご覧くださいだと思います。ここでは、全体の結果分析の概要をご紹介します。RSTでは、文書を読み解くときの基本中の基本である「主語は何か、述語はなにか」の把握力は、かなり定着しています。基本中の基本と言ったように、低学年の時にしっかりと身に付けておくことが必須な事柄です。学年が上がるにつれ、文書も単純なものから複雑なものになります。1年生では「私は学校へ行く。」など主語・述語の関係が一つある単純な文と多く出会います。しかし学年が上がるにつれ、主語・述語の関係が2つ以上あり、一方がもう一方に従う文である「雨が降ったので、私は家にいた。」や、主語・述語の関係が2つ以上あり、それぞれが対等な関係の文の「私は学校へ行き、弟は家にいた。」また更にいろいろな要素が組み合わさった「雨が降ったので、私は家にいたが、弟は学校へ行った。」などの文と出会います。

全国学力学習状況調査において課題と判明した事項が、「筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えること」でした。中学年になると段落とか要旨とかに出会う場面が多くなります。いったいこの話は何について話している内容なのか、筆者が読み手に投げかけている話題はなんなのか。それに対する説明をしている部分はどこなのか、結論は、なんなのか等文章の構成を理解することが求められます。低学年の段階から、一文字一文字を追いかけて、文字を読むのではなく、言葉の塊（語彙）を読み、一文一文を読み、意味を理解しながら読めるようにすることが大切です。

最後に、長寿命化工事がいよいよ始まります。現在車両で資材を搬入するため、あいキッズ側の学校の塀を一時取り壊し、仮設の工事車両専用の門の設置工事（仮設スロープ建設工事）が始まっています。そこから工事に必要な資材が校庭に運び入れられます。南門は長寿命化工事完了までの間、使用はできなくなります。（基本的に学校への出入り口は職員の出入り口門一カ所になります。（※夜間土日の施設利用者など一部は東門を使用することとなります。））工事はまず校庭にプレハブの仮設校舎を建築することから始まります。南門付近から仮設校舎建設場所へは近づけなくなります。だんだんと児童が使用できる校庭の広さも狭まってきます。

なお、仮設プレハブ校舎建設完了後、来年度の7月末くらいから、西側校舎から内部工事が始まります。長寿命化工事終了予定は令和11年度末の予定です。